＜第５9回総会アピール＞

戦争準備と社会保障解体をすすめる安倍暴走政治ストップ！「戦争法案」廃案、社会保障拡充へ共同の取り組みを大きく広げよう！

安倍内閣は、国民の声や憲法学者たちの声を聞くことなく戦争する国づくりへと暴走しています。その一方で、憲法２５条で明記されている国民の生存権を保障する国の責任を放棄し、社会保障分野の予算を削減し、国民に「自立・自助」を押し付け、民間の市場に開放する社会保障制度の解体を同時に進めています。

　歴史を振り返ってみても国が戦争に進む時、社会保障費が削られ軍事費に使われています。

　中央社保協は、１９５８年に権利としての社会保障の確立を掲げて結成され、戦争と失業に反対し社会保障を拡充する運動に奮闘してきました。今こそ結成時の原点にたち「平和のうちに生存する権利」を守るため、「戦争法案」廃案、明文改憲を許さない運動を広げる時です。

地域の切実な要求実現へ共同の取り組みをさらに広げ全国各地に社保協の旗を掲げることをめざし、奮闘しましょう！

　　　　　　　　　　 ２０１５年７月２日

中央社会保障推進協議会第５９回総会